NIE 教育に新聞を

NIE全国大会　名古屋開催まで1年

教室と社会 つながった

ＮＩＥ（教育に新聞を）を実践する先生たちが名古屋市に集まる「ＮＩＥ全国大会名古屋大会」開催まであと１年となった。将来を担う子どもたちに新聞は何ができるのか―。作家の朝井リョウさんへのインタビューと、愛知県一宮市の学校での取り組みなどを紹介する。

愛知・一宮　新聞活用の試み

五年一組の朝は、新聞で始まる。「気になる新聞記事を発表します」。愛知県一宮市神山小学校。授業前の朝の会で、日直の井手本仁君(一)が黒板の前に立った。米大リーグでイチロー選手がメジャー最多記録を抜く日米通算4257安打を記録したことを紹介。「それではクイズを出します。イチロー選手はいつ、何安打しましたか」

机に新聞記事や教材を広げ、熱心に学ぶ児童

廊下にあるＮＩＥコーナーで新聞を読む児童たち

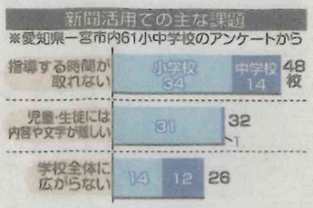
◇

一宮市内、全六十一小中学校。すべての学校が六年前から、新聞を使った学習に取り組んでいる。各校には一人ずつ、推進役の教師がいて、その内容を充実させようと工夫している。複数の新聞を読み比べたり、投稿文を書いたり。中国の「一人っ子政策廃止」や地球温暖化といった時事問題を取り上げ、議論する学校もある。こうした実践を積み重ね、学力向上につなげる。「今の時代は、たくさんの情報に囲まれている。正しく情報を活用する力が重要になる」と市学校教育課の西本臣志(おみし)指導主事(ぎょ)。「子どもたち同士で話し合うことで、コミュニケーションの力を育むことにもなる」と意義を説明する。

とは言っても、当初から順調だったわけではない。そもそも、学校で購読できる新聞数は限られていて、全員が読んで親しむのは難しい。自宅から持ってきてもらおうにも、購読していない家庭もある。そこで市内の新聞販売店が協力。ＮＰＯ法人「一宮がっこうおうえん隊」を設立し、継続して新聞を届けることになった。小五～中三の各教室に新聞が毎日届き、教師も「自然に手に取る環境が整った」と歓迎する。青木俊憲理事(ぎょ)＝中日新聞一宮南部専売店は「新聞活用の上で一番のネックになる部分を解消したかった」と振り返る。

社会科の授業で新聞記事を使い、勉強する児童ら＝いずれも愛知県一宮市神山小で

販売店が協力、毎日お届け



まちづくりのみで取り組むようになって、課題も見えてきた。昨年度、全校で実施したアンケートでは、問題点として「指導する時間が確保できない」「文字や内容が難しい」に次いで「学校全体に広がらない」ことが挙がった。教師らでつくる新聞活用研究委員会の村田慎一委員長(ぎょ)＝向山小校長＝は「大学で研究しているような最先端の取り組みではなく、誰でもできる簡単なことからでいい。新聞活用の裾野を広げたい」と力を込める。

◇

十五分の朝の会を終えた神山小五年一組。一時間目は社会科だ。「これまで勉強した沖縄のことを、今日は整理します」。担任の脇田恵教諭(ぎょ)がプリントを配った。児童たちは教科書を見ながら、沖縄の気候と人々の暮らしについて、プリントに書き込んでいく。

「この新聞記事も参考にしてね」。脇田教諭が配ったのは、台風の予報やサンゴの現況、米軍ヘリ墜落を伝えた記事。熊沢央宣君(二)は「教科書とは違ったニュースや理由が書いてあって面白い」と話す。

「内容が難しければ、見出しを読むだけでもいい」と脇田教諭は考えている。「自分たちが勉強していることは、社会の動きとつながっている。新聞を通してそのことを知ってほしい」

子どもたちの未来のために

大会スローガン「新聞を開く　世界をひらく」

新聞はスポーツ、国際政治、文化など幅広い情報がまとめられ、自分の関心が薄い分野の情報も得ることができます。記事を読むことは自分の意見や疑問を持つことにもつながり、その行動一つ一つが子どもの思考力育成に役立ちます。新たな学びのスタートラインになることもあります。

この特性を生かすには、質の高いＮＩＥ授業ができる教員養成が必要です。子どもたちに新聞の重要性や面白さをもっと感じてもらうために、記者との接点を増やす取り組みも少しずつ進めています。

名古屋大会のスローガン「新聞を開く　世界をひらく」は、新聞で得た情報を基に、自ら考え世界で活躍する子に育ってほしいという願いを込めました。中部地方は、自動車産業など世界で活躍する地元企業も多い地域です。企業関連の報道を通じ、地域が世界とつながることを考える素地が整っていると感じます。

大会は教育・新聞業界向けと思われがちですが、時代をつくる企業や地域の人々、次世代を生きる子どもたちも巻き込むつもりです。今後の社会を考える際に新聞がどう役立つかを皆で考え、未来づくりの方向性やヒントが見える大会になるよう努力します。（愛知教育大教授）

ＮＩＥ名古屋大会実行委員長
土屋　武志さん

NIEって何のこと？

記事を学びに取り入れる

NIE(ニーアイイー)は教育現場で新聞を活用すること。Newspaper in Educationの頭文字を取った。「教育に新聞を」と訳す。一九三〇年代に米国で始まり、日本では八〇年代から広まった。

近年、新聞学習が注目されるようになったきっかけの一つが、学習指導要領。思考力や判断力、表現力を育て、言語活動の充実を狙う。教科書にも、新聞を取り入れた単元が登場している。

来年八月、ＮＩＥを実践する教師、新聞関係者が集まるＮＩＥ全国大会名古屋大会が開かれる。ノーベル賞受賞の名古屋大・天野浩教授が記念講演する。

【ＮＩＥ全国大会　名古屋大会】

日程	2017年8月3、4日
会場	名古屋国際会議場
1日目（全体会）	基調提案、記念講演、パネルディスカッションなど
2日目（分科会）	愛知県内の小中高校による公開授業（9校）や実践発表（10校）など

取材・阿部雅之、長田真由美、那須政治　レイアウト・藤沢明子